

令和7年度

水素供給インフラ周辺ビジネス
人材養成講座

募 集 要 項



YAMANASHI



山梨大学
UNIVERSITY OF YAMANASHI

目 次

水素供給インフラ周辺ビジネス人材養成講座

1	出 願 資 格	1
2	募 集 人 員	2
3	講 義 内 容	2
4	講 義 期 間	2
5	講 義 場 所	2
6	受 講 料	3
7	出 願 手 続	3
8	出 願 書 類	3
9	受 講 者 の 決 定	3
10	受 講 可 否 の 通 知	3
11	修 了 証 書	3
12	問 い 合 わ せ 先	3

(添付書類)

別紙1 「志願書」

別紙2 「志望理由書」

令和7年度 水素供給インフラ周辺ビジネス人材養成講座

水素・燃料電池関連産業は、2050年カーボンニュートラルの実現に向け成長が見込まれる産業であり、国においても「水素基本戦略」の策定、「水素社会推進法」の制定など、「技術で勝ってビジネスでも勝つ」となるよう、我が国の技術を活用した水素社会の実現に向けた取り組みを加速化させております。

本県では、山梨大学をはじめとした水素・燃料電池関連の研究開発拠点の集積している優位性を生かし、将来の基幹産業化に向けた産業振興を推進しており、本県が民間企業と連携して開発・実証を進めてきたP2Gシステムは、グリーン水素製造のトップランナーとして本県のプレゼンスを高めています。

こうした中、令和6年11月には、カナデビア株式会社がP2Gシステムの心臓部である水電解スタックの量産工場を都留市に建設することを決定しました。これにより、研究開発環境が充実した本県に、「量産」という重要なピースが加わり、米倉山を核として重ねてきた実証が実装へと移行するスピードが加速することが見込まれております。

さらには、「量産」による価格低減効果に伴うP2Gシステムの普及拡大、インフラ工事、保守点検など関連産業の裾野拡大など様々な波及効果も期待されていることから、山梨県と山梨大学は、製品開発や部材供給分野だけでなく、今後成長の見込まれる水電解装置や水素ステーションの設置工事、配管工事、メンテナンス業務等の周辺ビジネス分野への参入に必要な知識を習得させる機会を提供するため、本年度新たに「水素供給インフラ周辺ビジネス人材養成講座」を開講することにしました。

水電解装置等で取扱う低圧水素（1MPa未満）、水素ステーションや燃料電池自動車等で取扱う高圧水素（70MPa程度）それぞれにおける技術、規制内容など水素に関わる全般的な知識を習得することが可能な講座になっております。

水素供給インフラ周辺ビジネス分野に新規参入を目指す県内企業の皆様のご参加をお待ちしております。

1 出願資格

次の各号のいずれかに該当する方で、全講義（施設見学含む）に可能な限り出席できる方

- (1) 現在、水素・燃料電池関連産業分野で活動している、または今後、同分野に参入を目指している県内に事業所もしくは営業所等がある企業に勤務している方で、所属長の推薦が得られる方
- (2) 水素・燃料電池関連産業分野において、技術、経営面等で県内企業との連携や支援を行う企業・団体等に勤務されている方で、所属長の推薦が得られる方

2 募集人員

15名程度 ※「1 出願資格」(1)の方を優先

3 講義および実習内容

水素供給インフラの組立・メンテナンスなど周辺ビジネス分野への新規参入に繋げるため、水素の特性・材料選定(低圧水素/高圧水素)、法規制などの留意すべき事項について講義するとともに、水電解装置や水素ステーションなどの水素供給インフラについては、座学だけでなく、組立、メンテナンス、設置工事の実施工程・手順等について、現場視察を交えて解説する予定です。

また、実習として県外での先進事例(福島県等)の視察を行う予定です。

講義テーマ	概要
水素供給システム総論	水素特性・材料、関係法規(低圧水素)、評価方法
	高圧ガスの基礎知識、関連法規
水電解装置	水電解装置の概要、設備構成
	組立・メンテナンス工程、必要設備、留意事項、現場視察
水素ステーション	水素ステーション概要、関連設備
	点検作業、設備交換、メンテナンス工程、現場視察
水素インフラ設置工事等	低圧配管の設計のポイント、設置工事
企業等における取組紹介	先進事例、研究開発の紹介
施設見学会	福島県施設(FH2R、水素柱上パイプライン等)の視察

※ 内容については、変更の可能性があります。

4 講義および実習期間

・令和7年6月11日開講～8月下旬(計8日間 90分×11コマ 16.5時間)

※ 原則水曜日午後開講予定(2週間に1回ペースで開催)

・令和7年6月11日開講式+第1回講義

・閉講式は8月下旬ごろ(予定)

5 講義場所

米倉山次世代エネルギーシステム研究開発ビレッジ

〒400-1507 山梨県甲府市下向山町3147番地

案内図：右記QRコード参照



<https://www.pref.yamanashi.jp/documents/108578/nesradannai.pdf>

6 受講料

無料

ただし、他にテキストの代金および講義、実習、施設見学等に係る費用は、実費（事業主負担）を申し受ける場合があります。

7 出願手続

(1) 出願方法：郵送又はメールにて提出

(2) 出願締切：令和7年5月30日（金）必着

(3) 提出先：〒400-0021 甲府市宮前町 6-43 番地

国立大学法人 山梨大学 研究推進・社会連携機構

水素・燃料電池技術支援室

水素供給インフラ周辺ビジネス人材養成講座担当 宛

Email:hfc-info@yamanashi.ac.jp

8 出願書類

(1) 別紙1「志願書」

(2) 別紙2「志望理由書」

9 受講者の決定

山梨県と山梨大学との協議において決定します。

10 受講可否の通知

令和7年6月初旬に通知します。

11 修了証書

受講終了時に、全講義（実習を除く）の8割以上に参加した方で、かつ、修了レポートを提出した方には修了証書を授与します。

12 問い合わせ先

山梨大学 研究推進・社会連携機構

水素・燃料電池技術支援室

水素供給インフラ周辺ビジネス人材養成講座担当

電話/FAX：055-254-7098

Email:hfc-info@yamanashi.ac.jp

取り扱い時間：平日（月～金）8時30分～17時15分

令和7年度 水素供給インフラ周辺ビジネス人材養成講座

志願書

		整理番号（大学記入欄） No.
令和 年 月 日		
（志願者連絡先）		
会社名		
勤務先住所	〒	
勤務先電話		
志願者A	氏名 (ふりがな)	生年月日
	携帯電話 Email	人材養成講座基礎コース受講履歴 <input type="checkbox"/> 有（20年度） <input type="checkbox"/> 無
志願者B	氏名 (ふりがな)	生年月日
	携帯電話 Email	人材養成講座基礎コース受講履歴 <input type="checkbox"/> 有（20年度） <input type="checkbox"/> 無
志願者C	氏名 (ふりがな)	生年月日
	携帯電話 Email	人材養成講座基礎コース受講履歴 <input type="checkbox"/> 有（20年度） <input type="checkbox"/> 無
（山梨県内における水素・燃料電池関連産業への従事状況）		

※志願者携帯電話は、講座開講後に必要となりますので、記載してください。

※人材養成講座基礎コース：2016年から開講されている水素・燃料電池技術全般を学ぶ
40週80コマ履修のコース

別紙2 「志望理由書」

志望理由書	企業・ 団体名	
志望理由について、志願者のうち代表者が300字程度で記載してください。		
貴社が保有する技術、貴社の特徴を簡潔に記載してください。		
水素・燃料電池技術分野で興味のある技術、参入を検討している技術を記載してください。		